取扱説明書

JL-M　ダクト式　無煙ロースター

形名　JL-M（放熱板タイプ）

- **このたびはロースターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。**
- **この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に この取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解して下さい。**
- **お読みになった後は いつも手元においてご使用下さい。**

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名前	3
準備	4
使いかた	6
お手入のしかた	7
仕様	9
温度ヒューズ交換方法	

株式会社　中部コーポレーション

安全上のご注意

○ ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ 正しくお使い下い。
○ ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。

● ガス漏れに気づいたときは すぐに機器の使用をやめ、ガス栓を閉じ、窓や戸を開放し、ガスを外に出し、販売者またはガス供給者に連絡し、全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないこと。 炎や火花で引火し、爆発事故の原因になります。

● 本体に貼ってある銘板のガス種以外では使用しないこと。
異常燃焼で火災、火傷や一酸化炭素中毒の原因になったり、機器が故障することがあります。
不明な場合は、販売者またはガス事業者に連絡してください。

● 引越しや移設をされたときは、供給ガスの種類と機器銘板のガス種が一致していることを、必ず確かめてください。

● 可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶、ガソリン、ベンジン、接着剤、石油缶など）のものを機器の上やまわりに置いたり、使用したりしないこと。
焦げたり燃えたりして火災の原因になります。

● 棚の下など、落下物の危険のあるところに設置しないこと。
機器の上に落ちたものが燃えて、機器が破損したり、火災の原因になります。

● 機器を設置した後、機器の周辺の改造をしないこと。
設置基準上問題となる場合があり、不完全燃焼や火災の原因になります。

● 水槽に水が入っていない状態で使用しないこと。
火災の原因になります。

● 絶対に分解したり改造はしないこと。
異常動作したり故障の原因になります。

● 使用時には換気扇を回し、必ず換気すること。
換気しないと室内の空気が汚れて不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります。

● 地震、火災など緊急時や、使用中に異常な燃焼、臭気、音等ふだんと違った状態になったとき、不都合が生じたときには、ただちに使用を中止すること。
火災、火傷、一酸化炭素中毒の原因になります。

● 強い風の吹き込むところや屋外に設置しないこと。
性能が十分に発揮できなかったり、炎が消えたり、風にあおられて周囲のものの過熱の原因になることがあります。

● 安定性の良い丈夫で水平なところに設置すること。
不安定で傾いたところに設置すると、機器の落下や異常加熱などによって、ケガや火傷の原因になることがあります。

● 点火のときや使用中はバーナー付近に顔を近付けすぎないこと。
火傷の原因になります。

● 使用中および使用直後は、網や機器本体と、その周辺が熱くなっているので、操作部以外は触らないこと。
火傷の原因になります。

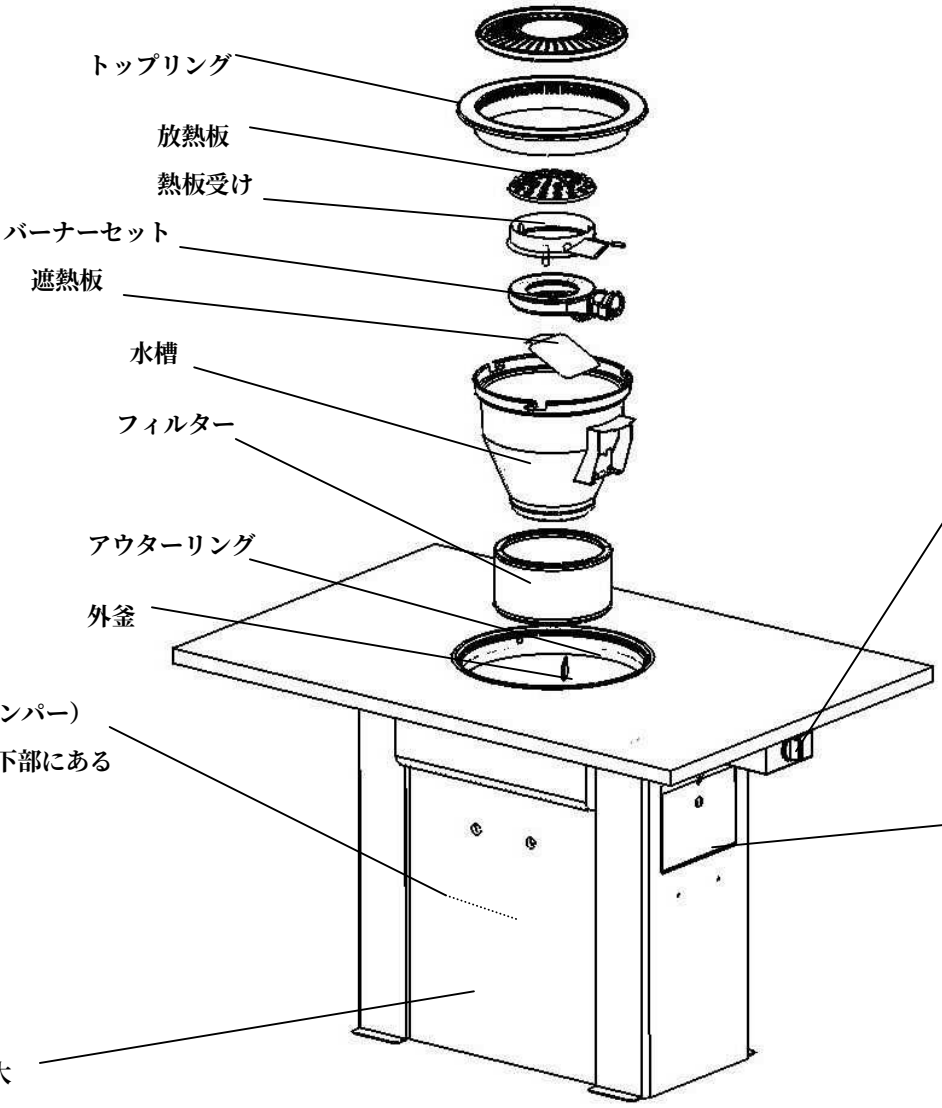
● 使用中および、使用直後は焼網や水槽、放熱板、熱板受け、それら周辺部は高温になっているので、持ち運びの際は、落としたり、 こぼしたりしないように注意すること。 火傷の原因になります。

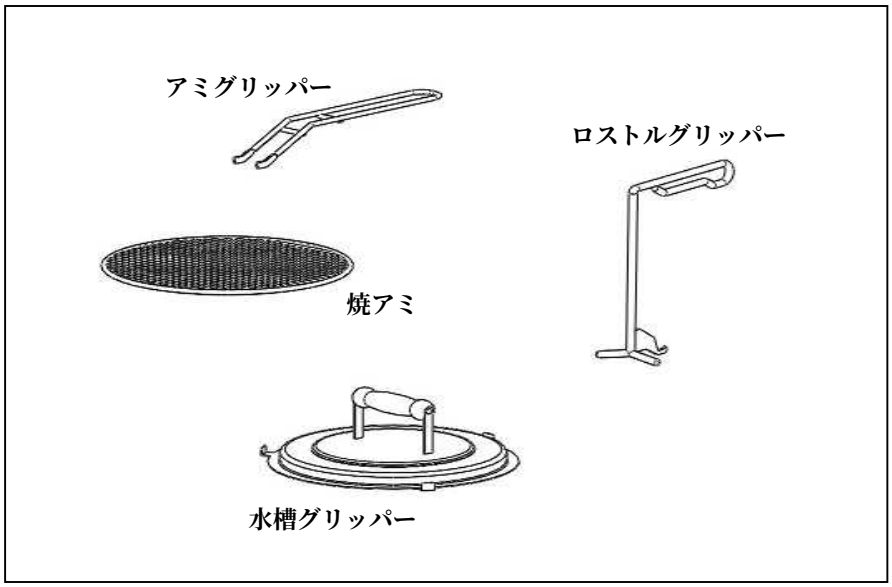
● 本体へのガス接続は 金属可とう管などを用いて 専門の業者の方が行ってください。ゴム管は使用しないでください。
火災・爆発の原因になります。

● キャビネット内での電源プラグとコンセントの接続は 確実に行ってください。きちんとプラグが差し込まれていないと ショート等と引き起こし火災の原因となります。

● 五徳を用いて、鍋を使用しないでください。
(焼き物専用ロースターですので、コンロとしては使用しないでください)

各部の名前


トップリング
放熱板
熱板受け
バーナーセット
遮熱板
水槽
フィルター
アウターリング
外釜
操作部
FVD（防火ダンパー）
「外釜」の最下部にある
部品です。
点検扉　小
点検扉　大


アミグリッパー
ロストルグリッパー
焼アミ
水槽グリッパー

準 備

（各部の名前は ３ページを参照してください。）

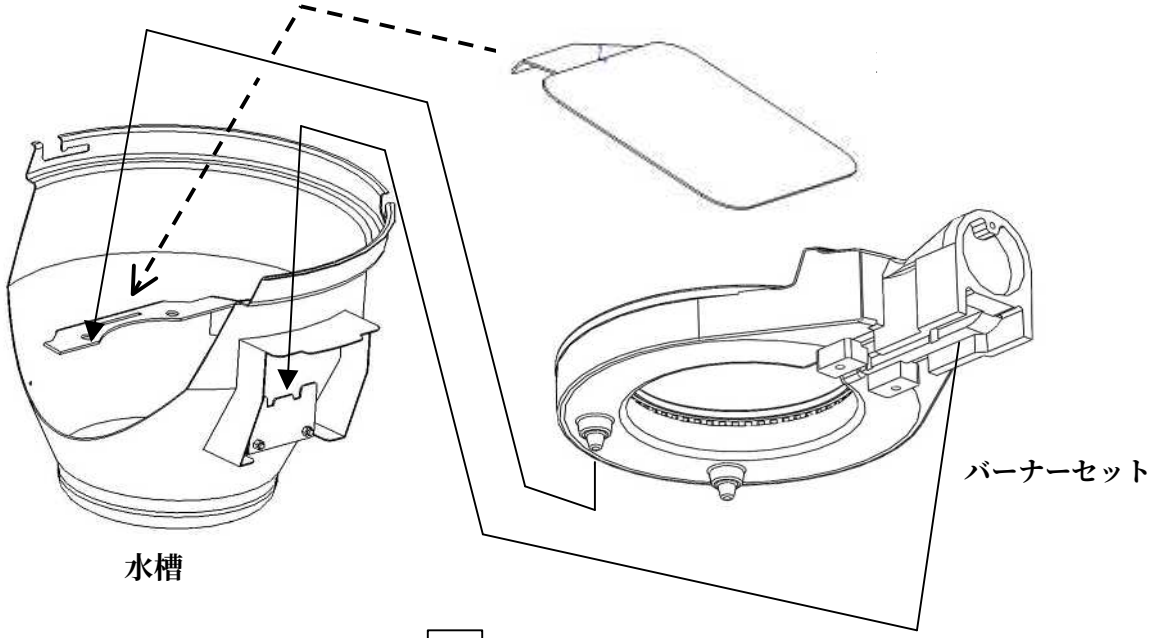
各部品のセット

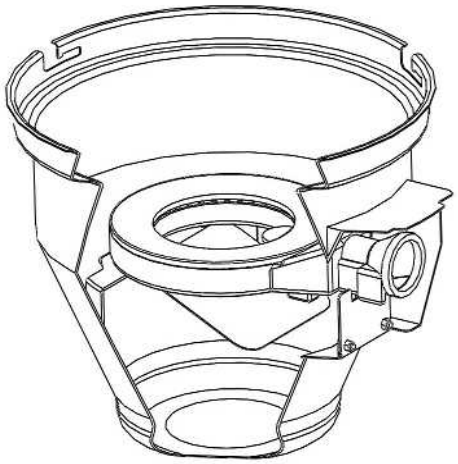
１.「フィルター」をセットして下さい。

２.「水槽」「遮熱板」「バーナーセット」をセットしてください。

※1　**あらかじめ「水槽」に「遮熱板」「バーナーセット」をセットしてから**
「水槽」を本体に入れると、簡単にセットできます。

※2　**「バーナーセット」を「水槽」にセットする際は**
下図の様に　しっかりとセットしてください。
セットが不十分だと　着火不良や燃焼不良の原因となります。

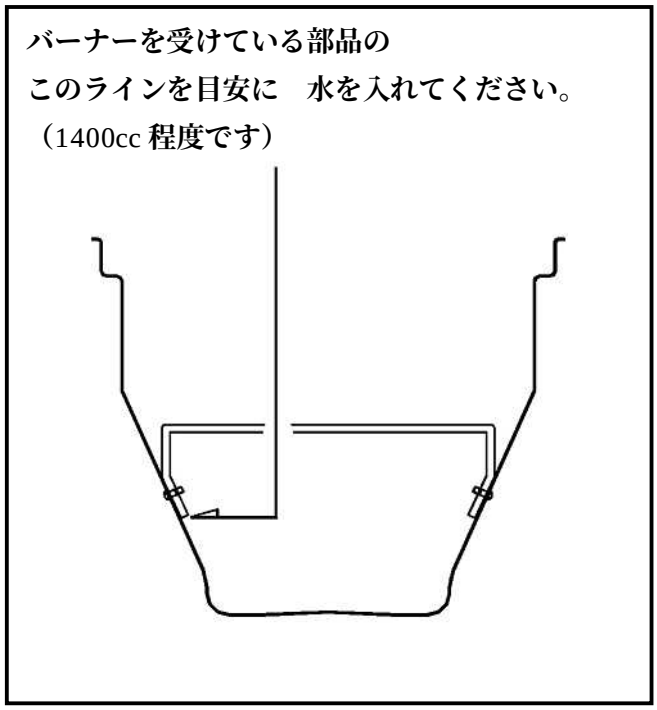




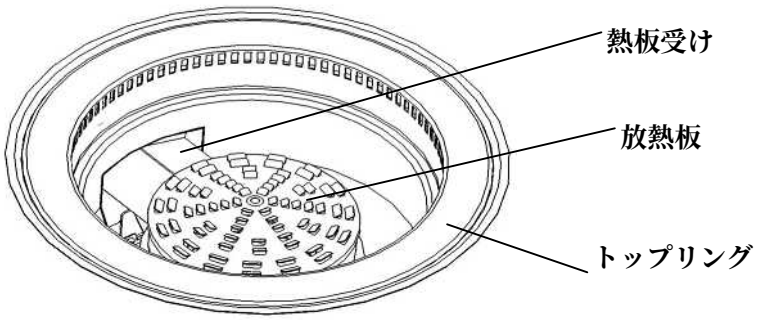
３.「水槽」に水を入れてください。

※1　**適量は** 1,400cc **です。**

※2　**水を入れる際にバーナー炎孔に水が入ると着火不良や燃焼不良の原因となります。十分に注意してください。**



４.「熱板受け」「放熱板」「トップリング」をセットしてください。



－以上で準備は完了です－

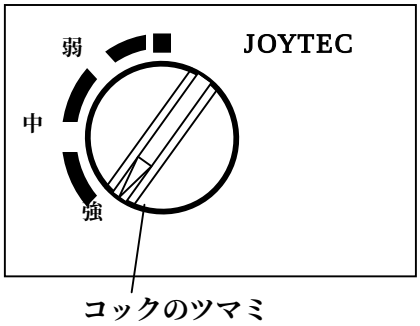
使いかた

点火、火おこしと火力調節

点火前に必ず換気扇を運転して下さい。
不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の恐れがあります。

１．「コックのツマミ」を押しながら左（「強」の方向）へ
ゆっくり止まるまで回します。
※「コックのツマミ」を回すと自動的にロースターに 電源が入ります。
・ツマミを押したまま数秒間そのまま保持して下さい。
・「チチチ‥」と音がして点火します。

初めて使う時や、しばらく使わなかったときは、すぐに点火しない場合や
点火してもツマミから手を離すと消える場合があります。
その場合には コックのツマミを一度、閉の位置まで戻し、しばらく待ってから、
改めて操作を行なって下さい。



２． 火力調節（弱・中・強）を行いながら 使用してください。

注意とお願い

・お客様の変わり目などで、網を交換する時、「水槽」の水量を確認して下さい。
もし少なくなっていたら水を追加して下さい。空水の状態が続くと
器具内の温度が上がり 故障や 火災の原因となります。
○器具内が異常過熱すると、器具内のブザーが鳴動します。

消 火 （ご使用後）

１．ガスコックのツマミが閉の位置（■ 印）になっているか確認して下さい。
２．排気ファンスイッチは消火後、しばらくたってから消して下さい。
・器具内を冷却させます。

お手入のしかた

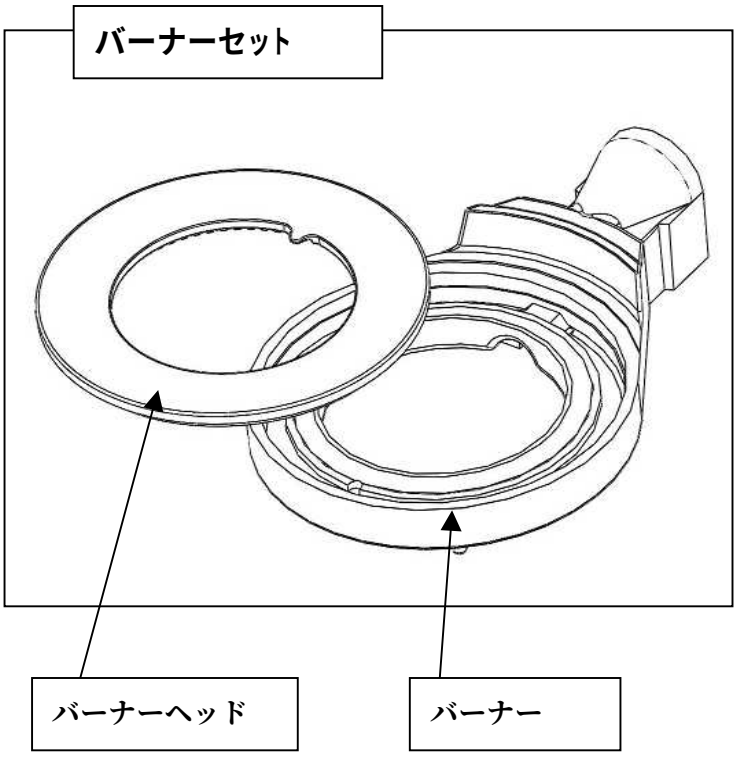
１．トップリング・放熱板・熱板受け・遮熱板

・毎日、専用洗剤[オーブンクリーナーFF／D9]（３～５倍希釈）で洗って下さい。
・乱暴に扱うとホーロー製品はヒビや変形がおこり異常燃焼の原因となります。
・トップリングは　かたい目のスポンジタワシ等でスジにそって磨き込んで下さい。

２．アウターリング

・中性洗剤で　洗ってください。
・かたい目のスポンジタワシ等でスジにそって磨き込んで下さい。

３．バーナーセット



・バーナー
汚れは金属ブラシ等で
取り除いて下さい。
鋳物製ですので水洗いを
しないで下さい。
サビの発生原因となります。
バーナーが濡れた場合は
完全に乾燥させてから
セットしてください。

・バーナーヘッド
炎孔の目詰まりなどを
取り除いてください。
水洗いしたときは完全に
乾燥させてからセットして
ください。炎孔が詰まって
いると不完全燃焼の原因と
なります。

４．フィルター

・一週間に一度は専用洗剤「オーブンクリーナーFF／Ｄ９」（３～5倍希釈）に2時間以上、
浸けおきして きれいな水等ですすいだ後、十分に乾かして使用して下さい。

※汚れがひどくなると、排気ファンの能力を大幅に低下させます。

５．外　釜

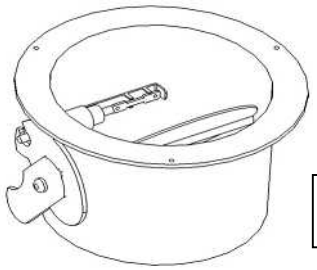
・使用頻度にも異なりますが、定期的に汚れを拭き取って下さい。
「外釜」に汚れが溜まっているとダクト火災の原因になります。

６．ＦＶＤ（防火ダンパー）

・定期的に、ウエス等で汚れを拭き取って下さい。

※油脂による汚れが固着すると、防火の動作に支障をきたし火災原因になります。

※FVD が作動した場合（炎が排気経路に流入したときに作動します。）は
温度ヒューズホルダーを反時計方向に回転させて外し、内部の温度ヒューズを
交換してください。その後、再びホルダーをセットしてください。



FVD

仕様

・形　名	JL－M（放熱板タイプ）
・焼き方	網　又は　ロストル
・電　源	100V　50/60Hz 共用
・消費電力	6　W　　（1 釜当たり）
・ガス消費量	都市ガス13A　3.49kW　　（1 釜当たり） LP ガス　3.49kW
・ガス接続方法	15A　(Rc1/2)
・点火方式	連続スパーク方式
・水槽水量	1,400 cc　(1 釜あたり)
・安全装置	ダクト遮断装置 異常過熱時にブザー鳴動

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは、まず「故障・異常の見分け方と処置方法」の項に従って　お調べください。

直らないときは、保証書をよく読んでいただき　販売店に修理を依頼してください。

保障期間中に故障したときは　保証書を添えて　修理を依頼してください。

株式会社　中部コーポレーション　本社 〒511-0944
三重県桑名市芳ヶ崎堂ヶ峰 1533-1
Tel．0594-32-1131　Fax．0594-32-1132

東京営業所　Tel．03-5833-9969
名古屋営業所　Tel．0594-32-1135
大阪営業所　Tel．06-6788-3081
福岡営業所　Tel．092-474-8800